

## 令和5年度 第1回太田市子ども・子育て会議 会議摘録

○ 日 時 令和5年10月3日（火）午後2時から午後3時まで

○ 場 所 太田市役所3階 大会議室

○ 出席者

【委員（名簿順）】14名

鷹嘴紗梨委員、小山雅史委員、田口時子委員、森下幸夫委員、澁澤英男委員、坂本弘委員、中村一夫委員、笹川純美代委員、本間正彦委員、飯塚史彦委員、落合みどり委員、懸川武史委員、田村容子委員、金井政和委員

【事務局】13名

○ 概 要

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶

（事務局）

- ・ 子ども・子育て会議は、平成25年度に設置され、新制度に関する議論や事業計画作成に関して、委員の皆様にご意見をいただいていた。今回の会議においても、それぞれのお立場から、ご意見をいただきたい。
- ・ 国は令和5年6月に「こども未来戦略方針」を閣議決定し、児童手当の拡充、保育所等の職員配置基準の改善、こども誰でも通園制度、放課後児童クラブの受け皿拡大などの施策を検討している。国からの詳細な通知等は今後になるが、国の動向を注視しながら市として対応していきたいと考えている。
- ・ 「子育てしやすいまち太田」として、市民の皆様が笑顔で、安心して子育て出来るまちづくりのため、委員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

4 委員自己紹介、事務局紹介

5 議事

令和4年度 次世代育成支援行動計画実施状況の報告

（事務局より議事説明）

- ・ 第二期太田市子ども・子育て支援事業計画について
- ・ 次世代育成支援行動計画について
- ： 令和3年度の実績に対し、令和4年度の実績に増減等がある事業を説明。
- ： 令和4年度は引き続きコロナ禍であり、事業の実施や利用に影響があったと思われるが、新型コロナウイルスも5類に移行し、生活環境等も変化している。
- ： 今回の実施状況を参考に、関係所管課と連携を図り、様々な角度から、子育て支援施策を展開し安心して子どもを産み、子育てできるまちづくりを推進して

いく。

議 長：何か質問や意見はありますか。

事 務 局：事前に委員より質問を受けておりますので回答させていただきます。

事前質問：病児・病後児保育事業の推進 今後の目標と設置個所の増加について

事 務 局：現在1施設となっております。病気の回復期及び突発的な体調不良のお子さまをお預かりするための保育環境を整えるため、専門的な知識を要する看護師等の配置が定められております。民間病院等の協力が不可欠となっていることから、病児保育施設の新たな設置は難しい状況となっております。

事前質問：児童館の充実と整備推進 中高生の利用について

事 務 局：中学生は卓球が多く、高校生は比較的利用が少ないが、バスケットを利用する子どもが多い。また、夏休み等の期間中、勉強をしたいという子どももあり、館内の導線を分けて机や椅子を貸出し学習できるよう環境を整えました。団体利用では、放課後ディサービス等の利用があり障害やハンデを抱えている中高生の子どもも利用している。令和4年11月から教育委員会がふれあい教室事業を実施しており、中学生の不登校児の居場所づくりとして児童館を利用している。

事前質問：薬物乱用防止教育の推進は、目標を全小・中学校にしてはどうか。

事 務 局：ここ数年は新型コロナの影響もあり、実施できなかつたり、予定したものの中止となつたりしております。再度、100%の実施を全学校に呼びかけてまいります。

事前質問：文化活動や芸術鑑賞の機会の充実について、市内中学生全てにできないか。

事 務 局：文化活動として、毎年全ての中学校で合唱コンクールを実施しています。また、芸術鑑賞の機会として、太田市民会館で群馬交響楽団による演奏を聴く移動音楽教室を全ての中学校に実施しています。3年間で17校を回すローテーションを組んでおります。

事前質問：防犯教室の開催について、避難訓練や心肺蘇生法等、防犯というより防災ですか。自分の身は自分で守る意識を定着させる防犯教室が望ましいと思えますがどうか。

事 務 局：不審者侵入対応の避難訓練を実施しております。教職員は「不審者への対応とさすまたの使い方」についての研修を行っております。児童生徒が「自分の身は自分で守る意識の向上」を図る機会を設定するよう、学校にも推奨してまいります。

事前質問：交通安全教室の開催におけるその他とはだれか。子どもの交通安全を確保す

るための活動の推進としては、目標を高くし実績を増やし交通安全意識向上・子供を守る環境づくりをお願いします。

事務局：その他とは幼児・小学校・中学校です。なお、小学校・中学校については、交通安全教室を必ず行っているため件数は学校数となっています。

事前質問：母子寡婦福祉資金の貸付には、父子家庭も含まれますか。

事務局：父子家庭も対象なので母子父子寡婦福祉資金に名称変更します。

事前意見：事業の見直しや事業の更なる充実を図り、社会情勢やニーズを十分に考慮しながら将来の次代を担う子どもたちを育む太田市の実現に向け、計画が着実に推進されることを望みます。太田市の状況を把握・点検しながら次世代育成支援に反映させていただけたらと思います。

事前質問：一時預かり事業や病児・病後児保育事業は、保育園児等を対象としていると思いますが、小学生や中学生を対象とした同じような事業はございますか。また、令和4年度、実際に上記の事業を活用した人数を教えてください。

事務局：病児・病後児保育事業ですが、対象は、生後3ヶ月から小学校低学年までで、それ以上の学齢の利用はありません。令和4年度の延べ利用人数は72人（うち小学生は1人、3日利用）です。学校においては、同じような事業は行っておりません。

事前質問：ふれあい教室等へ通所する際、親が送迎していることが多いようです。送迎として、学校の登下校でない時のスクールバスや市バス、おうかがいタクシーなどの活用は難しいでしょうか。

事務局：ふれあい教室児童生徒の送迎用に、スクールバスを週1回運行しています。西路線は水曜日、東路線は木曜日です。市バスを利用する生徒もおります。送迎以外の取組として、週1回、沢野児童館と藪塚本町中央公民館にふれあい教室出張所を開設しています。

事前質問：学校におけるいじめ対策にもなるため、副担任などを配置できないようなシステムがあつたらと希望いたします。

事務局：各学校においては、担任1人で抱えることなく、チーム学校として連携した指導・支援を行っているところです。教育委員会としては、教職員を対象とした、いじめの未然防止やいじめの組織的対応についての研修を今後も実施していきます。また、教員の多忙化について、朝の欠席連絡をデジタル化すること等、働き方改革を進め、教員が児童生徒に向き合う時間を確保するように努めているところです。事前質問への回答は以上です。

議長：委員の皆様からのご意見・ご質問等お願いいたします。

委員：ふれあい教室へのバスの稼働が、週一回とのことでしたが、もう少し増やす

予定はないですか。

事務局：バスの稼働は、現時点では、週一回で西と東の2路線とのことです。

議長：事務局から、報告等ありますか。

事務局：送迎バスの安全装置の設置状況について報告いたします。

令和4年9月5日に静岡県牧之原市の認定こども園で送迎バス内に置き去りにされた園児が亡くなる大変痛ましい事案を受け、国は送迎バスへの安全装置を設置する事業を実施しました。

太田市内の園における送迎バスの運行台数は15園、計28台であり、安全装置の設置は令和5年9月までに設置が終了しました。

安全装置の仕様は、エンジンを切ると自動的に安全装置から車内アナウンス（車内点検を行ってください）が流れます。車内点検を行い、車内後方にある安全装置のボタンを押すとアナウンスが切れます。なお、車内点検未実施等によりボタンを押さず、アナウンスが10分間続くと外にも聞こえる音量の警報が鳴る仕組みとなっています。報告は以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：次回日程は、令和6年2月8日（木）を予定しております。

## 6 閉会

事務局：本日は会議に出席いただきありがとうございました。事前にいただいた質問・意見をいただき回答をいたしました。貴重なご意見いただきましたので、今後の子ども・子育て施策の充実を図ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。それでは以上をもちまして、令和5年度太田市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。